シネマズライフ

2019年7月19日発行 第167号 http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

貴樹 諒音（たかぎ りおん）

【最近のこれはお見事！】

『隣の影』近頃流行りの《ご近所トラブル》の話らしい。確かに【影】はいつも隣にくっついていますね。ウィキペディアを参考にさせていただきました。m(_ _)m

【最近のこれはまずいぞ！】

『最短距離は回りくどくて、』昔にはなかった女性が見るAV映画らしい。しかし、この題名ではそうは思わない。それがいいのか悪いのか？…さて。

映画の風景 日本の風景

ロイヤルパークホテル

← ロイヤルパークホテル

『マスカレード・ホテル』という映画があった。こんな映画だ。

一流ホテル・コルテシア東京。東京都内で起こった三件の予告殺人の次の標的がコルテシア東京で、捜査一課の刑事数名が潜入捜査で派遣され、新田浩介はフロント係を命じられる。ベテランフロント・山岸尚美が新田の教育係に任命される。

最初はあまり乗り気でなかった新田だが、犯人逮捕の為しぶしぶ引き受ける。しかし、山岸はそんな新田とぶつかりながら新田をなんとかフロント係に見えるようになる。

ホテルは多くの人達が出入りし、新田にとっては誰もが怪しい。

・ある男性が来ても、自分に近づかせないでほしいと頼む女性客。

・怪しげな笑いを振りまく客。

・ホテルで結婚する予定の女性だがストーカーに狙われているらしい…。

・目の不自由な夫の為、下見に来た女性。

など、新田にとって誰もが怪しげに見えてしまうが、犯人がホテル内にいるとみた新田。そして結婚式の日、ストーカーが行動を開始した…。

ホテルにいつも泊まっている人も、初めての旅での宿泊でも、どこか違う人になってしまうのが一流ホテル。《マスカレード(仮面舞踏会)ホテル》という題名の由来はここからきている。

ロイヤルパークホテルは原作小説のモデルで、東京ではもう老舗ホテル。これから数年、日本は海外の観光客を期待して東京・大阪で新しいホテルが乱立するようだ。しかし、老舗のホテルの落ち着いた雰囲気のいい味のあるホテルはこれから貴重だと思う。

『マスカレード・ホテル』2018年日本 監督：鈴木雅之 原作：東野圭吾
出演：木村拓哉 長澤まさみ 小日向文世 梶原善 濱田岳 前田敦子 菜々緒 松たか子 篠井英介 渡部篤郎

東京のロイヤルパークホテルは、老舗のホテルの一つ。このホテルなら私でも素敵な女性になれると勘違いしちゃいそうだ。

コラム

幸せって何？と思う件

前編

映画を見ていて、気持ちのいい映画を見ているのがいいに決まっている。が、そうそう気持ちのいい映画はない。しかし、今年の前半、とても気持ちのいい映画を見た。

『僕たちのラストステージ』だ。コメディ映画全盛の頃、人気を博したローレル＆ハーディだが、今は人気が低迷し名誉挽回の為にイギリスで舞台ツアーを行った時の物語。

もう、過去の人になっていた彼らは小さい劇場で舞台の客もまばら。宿泊ホテルも場末のホテルで、全盛期の事を考えたらひどい扱いだ。

しかし、彼らもプロそれまで考えもしなかったマスコミへのアピールの為、イギリス全国を回り町中(まちなか)で速攻コントを演じ新聞・雑誌の取材に応じる。その甲斐あって、徐々に客足が伸びやがては大劇場でパフォーマンスを演じ、一流ホテルにも泊まれるようになる。一時は言葉の行き違いで仲たがいするが、やがてお互いを永遠の《相方》と再確認する。

芸人で自分に必要な人とお互い確信できるができるなんてめったにないと思う。

客の入りの悪い二人の起死回生は、マスコミにアピールする事、新聞・ラジオなどの要請に積極的に応じ、ミニコントを披露。じわじわと人気が出て、最後には一流劇場で上演できるようになる。

つい、口に出した【本音】で大げんかするが、それも2人にとっては本当の事。お互いを認める2人とって【本音】も許せるのだ。

その大人の関係が実に気持ちいい。

以下次号

☆【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。

on air !

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もありますので確認お願いします。m(_ _)m

『クレイジー・リッチ！』

スターチャンネル

2018年 アメリカ
監督:ジョン・M・チュウ 製作 原作:ケヴィン・クワン
出演:コンスタンス・ウー ヘンリー・ゴールディング
ミシェール・ヨー オークワフィナ ケン・チョン ソノヤ・ミズノ

7月21日(日)14:15(吹) 【チャンネル3】
7月31日(水)23:30(吹) 【チャンネル3】
8月5日(月)23:30(吹) 【チャンネル3】
8月13日(火)18:30 【チャンネル2】
8月18日(日)7:45(吹) 【チャンネル3】
8月28日(水)28:00 ⇒8月29日(木)4:00 【チャンネル2】

ニューヨーク大学で経済学科の教授をしている中国系アメリカ人、レイチェル・チュウは、恋人・ニック・ヤンの故郷、シンガポールへ向かう。レイチェルはアメリカ生まれの為アジアへの旅行は初めて、ニックは親友の結婚式への出席の為の旅だが、家族にレイチェルを紹介する為だ。

実は、ニックはシンガポールの大富豪の息子で、母はレイチェルとの結婚はあまり喜んでいない。ニックが大富豪の息子と知らなったレイチェルはシンガポールに着き、自分の立場を知り驚く…。

アジア人俳優を使い話題になったが、舞台はアジアの超金持ちの世界の話でそのセレブぶりで驚く映画でこちらが見どころ。お話は往年のアメリカ映画にはよくある話です。

『謎解きはディナーのあとで』

チャンネルNECO

2013年 日本
監督:土方政人
原作:東川篤哉
出演:櫻井翔 北川景子 椎名桔平 中村雅俊
桜庭ななみ要潤 黒谷友香 甲本雅裕 石井正則 大倉孝二
児嶋一哉 団時朗 伊東四朗 生瀬勝久 竹中直人 鹿賀丈史 宮沢りえ

7月21日(日) 22:05

世界的な企業グループ【宝生グループ】トップの一人娘・宝生麗子は、自分らしく生きたいと警視庁国立署に刑事として勤めていた。そんな、麗子に仕えるのは執事と専属運転手を兼ねる景山で事件が起こり麗子が解決に行き詰ると、麗子の話を聞き慇懃無礼な態度で解決するのだ。

ある日、やっと休暇をもらった麗子は自分の名前を付けた豪華客船《プリンセス・レイコ号》のラスト航海に招待される。船にはシンガポールに贈呈する「Kライオン」が運び込まれており、刑事としての上司・風祭京一郎も乗っており麗子はうんざりする。ところが、乗船当日、大富豪・レイモンド・ヨーが殺され、休暇であるはずの麗子が捜査する事になり…。

こちらは日本のセレブのお話でやはりというがやっぱりというか地味。

しかし、お話はいつものメンバー総出演で楽しいです。

「ゴジラ」

1954年 日本
監督：本多猪四郎
原作：香山滋 音楽：伊福部昭

出演：宝田明 河内桃子 平田昭彦 志村喬
堺左千夫 村上冬樹 高堂国典 菅井きん

ある日、小笠原諸島の近くの海を航行する船が行方不明になる事件が勃発。やがて、小笠原諸島の大戸島に泳ぎ着いた漁船の生き残りの漁師は、「巨大な生き物に火を噴きかけられ沈められた」と恐怖を訴える。

また、老漁夫が語る島の言い伝えでは、島の近海には【呉爾羅（ゴジラ）】という怪物が住んでおり、魚を食べ尽すと島を破壊するという。

そしてその夜・島を何かが襲い家畜・住民を殺される。

そこで古生物学者の山根博士は調査団の派遣を提案。島を調査すると大きな足跡があり、そこに〈トリロバイト(三葉虫)〉が残っているのを発見。そして、調査団は【ゴジラ】を目撃する。調査の結果山根博士は、

《200万年前の侏羅(じゅら)紀の生物が、水爆実験の為変化したのではないか？》

と予測する。

一方、今度は東京湾にゴジラが現れパニックになり、なんとかゴジラ上陸を阻止しようとするが失敗。とうとう、東京湾からゴジラが上陸。東京を破壊し始める…。

世界中が驚いた『ゴジラ』初登場作品。

時代を反映して放射能を吐き街を破壊するゴジラはほんとに怖かった。当時問題になっていた【核実験】を取り入れるが、いまだに【核への不安】が無くならないのは、やはり人間の《強い物を持っておきたい》という煩悩の為なんだろうと思う。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie CinemaFilm Movie Cinema Film Movie

☆読んで頂いてありがとうございました。よろしかったらご感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願いします！m(_ _)m 貴樹諒音

☆次回発行は8月16日です。今月の発行予定は第2金曜日のみです。m(_ _)m

◎シネマズライフ167号◎
✕ 発行人：貴樹諒音 ✕
発行日：2019年7月19日
cinemaz-life@movie.nifty.jp
✕ 告知ブログ ✕
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/

遅め梅雨のは
まだまだ
終わらない…
皆様お体お大事に。
かしこ m(_ _)m

【編集後記】

☆先日、植木の枯れ葉を掃除していたら、なんと枯れ葉の中からセミが飛び出してきた。

しかし、息も絶え絶えな感じ。そういえば近所ではセミの鳴き声が聞こえているような。

梅雨なのに猛暑が続き人間達は選挙で猛暑が続いている…。選挙が終わっても当分猛暑は続きそうだ。

シネマズライフーcinemaz-lifeー １６７号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi
著者：貴樹 諒音
メールアドレス **cinemaz-life@movie.nifty.jp**
著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html

【写真素材-フォトライブラリー】
の画像を使わせてもらっています。

《スターチャンネル》
『クレイジー・リッチ！』
《チャンネル**NECO**》
『謎解きはディナーのあとで』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。
ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画
rion_takagiのMyムービー
https://movies.yahoo.co.jp/my/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A--/

お世話になっているインターネットＴＶ
netchannel KYO

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸いです。
cinemaz-life@movie.nifty.jp

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

電子書籍プラットフォーム：パブー（http://p.booklog.jp/）
運営会社：株式会社トゥ・ディファクト